

気づき、考え、実行する さし人つつしん

唐津市立佐志小学校
学校だよりNO.4
令和4年5月17日
文責：校長 松野克己

相手を思いやり、よさを認める子に・・・

味を考えさせ、日々の行動につなげることが大切だと思います。

5月の全校朝会を10日(火)に行いました。コロナ感染者が増加傾向にあったため、今回も放送を使用しました。放送だと子どもの反応が見えませんが、少しでも聞いてもらえるように抑揚をつけたり、間をとったりしています。講話の主な内容は「相手を思いやり、友達のよさを認められる子どもに育てたい」というものです。「思いやり」と一言に言っても「親切・寛容」といった広い意味合いがありますから、今回はわがままを通さないことを思いやりの一つとして、「トイレのスリッパを並べる」「授業中に騒がない」といったことを伝えました。その上で友達のよさに気づき認めることとして、これも「掃除を頑張っている」「あいさつが上手」といった具体的な姿をイメージさせました。



この前の土曜日にあった公民館の放課後子ども教室開講式で、公民館長さんから、企業が求める人材の資質ナンバーワンが「コミュニケーション能力のある人」というお話を聞きました。子供の時にその素地を身につけておくことが大切ですね。

交通ルール・絶対に守って欲しい！

今年度になって、数回ドライバーの方や地域の方から、児童の交通ルールに対するお電話をいただいています。「車を止めたら、しっかり頭を下げてくれて気持ちよかった。」という嬉しいものもありますが、多くは以下のような危険な行為です。

- ・自転車で飛び出してきて、もう少しで衝突するところだった。
- ・赤信号を無視して横断歩道を走り抜けていた。
- ・歩道から急に車道に降りてきて、びっくりした。

言うまでもなく車は鉄の塊であり、それが人にぶつかれば、どうなるかは明らかです。相当な痛さでしょうし、命にも関わります。学校でも繰り返し指導していますが、衝動的にやってしまうのでしょうか。特に低学年に多いようです。でも、「つい、やってしまった。」が命に関わるわけですから、絶対にやめさせたいところです。来月の1日から7日は佐賀県PTA連合会から、保護者による県下一斉の交通指導が呼びかけられています。本校では特別な取組はしませんが、ぜひ、それぞれのご家庭で交通ルールを守るようにお話ください。



もう一つ、注意喚起の内容です。

SNSには犯罪リスクが・・・

Facebook、Instagram、TikTok といったSNSのいずれか、あるいは複数のアプリを使われている方がほとんどだと思います。小学生であっても、学年が上がるにつれ、これらを使った経験をもっている子は少なくないことでしょう。情報化社会といわれる今、これらを使うことを否定はできませんが、使い方によっては犯罪に巻き込まれる可能性、さらに自分が犯罪を犯す危険性があることは、使い方とともに学んでおかなければなりません。例えば、何気なくネットにあげた動画の中に、誰の家か特定できる映像が入っただけでも個人情報漏洩に引っかけられる場合があります。県警には「サイバー犯罪対策課」というネット犯罪に特化した部署があり、常時ネットパトロールをしています。未成年者がよく考えずにアップしたもので、それが犯罪につながるような内容であれば、保護者の責任が問われます。子どもにさせる場合は、そんなことにならないよう、しっかりと指導やチェックをしておきたいものです。

SNS(ソーシャルネットワーキングサービス)は便利なものです。スマホやタブレットをお持ちの方であれば、LINE、

放課後子ども教室開講式

5月14日(土)に佐志公民館主催の「放課後子ども教室開講式」があり、参加してきました。毎年、実施されている佐志公民館オリジナルの企画であり、子ども



も料理教室、わくわくたんけん教室、軽スポーツ教室、卓球教室、英語教室の5教室から自分がやってみたいことを選んで参加するものです。今年度は料理教室とそれ以外の4つをまとめたわくわく教室の2つに整理されていましたが、いろんな体験をやることも楽しさにつながるかもしれません。

今、コロナ感染予防のため、体験活動に制限をかけなくてはならないことがたくさんあります。学校でも時間を短縮したり、密にならない形態で活動したりしています。特に異学年で行う「たてわり班活動」は、どうしても顔を突きあわせたり、鬼ごっこのような接触のあるゲームをしたりしていましたから、実施するのが難しくなっています。異学年による活動の場である放課後子ども教室は、その点においても、地域の方

との交流の場としても、たいへんありがたい企画だと思っています。

開講式の後には会食としてカレーライスやデザートをごちそうになりました。私はお昼に用があったため、食べずに帰るつもりでしたが、つついカレーのスパイシーな香りにつられてごちそうになり、急いで会場を後にしました。写真のように全員が前を向き、黙々と食べていた子供たちの姿は、おそらく、参加された大人の皆さんにとってはすごく違和感があったことでしょう。でも、これがコロナ禍における給食の新しい生活様式となっています。



わんぱく相撲唐松大会



もう一つ、学校外での話題を・・・。5月15日(日)には、わんぱく相撲唐松大会が体育の森公園相撲場で行われました。本校からも9名の児童が出場

し、団体戦、個人戦で力のこもった取組を見せてくれました。この日は東からの風が肌寒かったのですが、子供たちの中には、上着1枚も羽織らずにずっと裸のままの子もいました。

審判団の中に知り合いの方がいたので、しばらく立ち話をしましたが、このわんぱく相撲、コロナ前は、参加者が多くて午後2時ぐらいに終わっていたのが、今日は午前中には終わりそうで、楽になったと苦笑いしながら話していました。この日は、佐志小の教員8名が応援に来ていました。子供たちにとっても少しは励みになったのではないかと思います。

- 団体戦高学年の部 優勝 4年山口よう 5年松下たいら(竹木場小) 6年井手とらのすけ
低学年の部 準優勝 1年中川はつね 2年井手あいのすけ 2年松下あらた(竹木場小)
- 個人戦 1年の部3位中川はつね 2年の部3位井手あいのすけ 4年の部2位山口よう



優勝 高学年の部



準優勝 低学年の部